

平成29年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号	20
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。		
2 評価する領域・分野	◇学校経営		
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	池田高校は、揖斐郡を中心に約9割の生徒が通学1時間以内、10km圏内から通うまさに地域の高校である。生徒は穏和な生徒が多く、保護者も学校の教育活動に協力的である。池田町や地域の学校や教育機関との連携を深め、地域創生の核となる高等学校づくりに努めている。 生徒・保護者対象のアンケート（7月実施）では、本校職員の教育活動に対する熱心な取組への評価がとても高く、特に社会規範を身に付けるための指導や生徒の進路希望に応じた適切な指導に対する評価が高い。保護者への情報提供の在り方について工夫が必要である。		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇E S D（持続可能な開発のための教育）の推進。		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	• 企画委員会、三部長と学年主任の会議、各種委員会及び職員会議		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 学びの挑戦 （授業改善、少人数指導、進路希望に合わせた多様な科目選択、キャリア教育等） (2) 部活動・学校行事・ボランティア活動の挑戦 (3) ユネスコスクール(ESD)への挑戦 「Global Welfare（地域・国際社会の中でよりよく生きる）」をキーワードに、「福祉」、「国際」、「環境」を3つの柱としてE S D（持続可能な開発のための教育）を推進	(1) 生徒・保護者等を対象とするアンケート結果、進学や就職等の進路状況 (2) 生徒対象の生活アンケート（迷惑調査）結果、部活動の成績や学校行事での生徒の活動状況、地域行事への参加状況 (3) 学校評議員会、学校関係者評価委員会による評価、地域からの評価、教育研究論文等への評価		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
(1) 学びの挑戦 • 英数国における少人数指導、生徒の興味関心や進路希望に応じた多様な選択科目の設定。 • 習熟度の高い生徒への放課後補習や土曜補習、成績不振者への補充指導等、生徒の実態に応じた学習支援。 • 職業別ガイダンス、学部・学科別ガイダンス、学校別ガイダンス、インターンシップ等のキャリア教育の充実。 (2) 部活動・学校行事・ボランティア活動の挑戦 • 生徒会の主体的な活動や、球技大会、文化祭、体育大会、版画大会等の学校行事の活性化。 • 外部講師による指導の充実、グラウンド夜間照明増設、備品の整備等部活動活性化のための環境整備。 (3) ユネスコスクール(ESD)への挑戦 • 地域のユネスコスクールや大垣ユネスコ協会との連携推進 • 池田町及び池田町教育委員会、保育園、小中学校、特別支援学校、福祉系専門学校や福祉施設と連携した福祉教育、国際教育、環境教育の推進。	① 一人一人の生徒の個に応じた指導と進路実現ができたか ② 所属意識を高め、生徒の主体的活動の実現ができたか。 ③ 地域と連携しながら池田高校の方向性を明確にし、行動することができたか。	<p style="text-align: center;">A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p style="text-align: center;">A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p> <p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> A B C D</p>	

<ul style="list-style-type: none"> 生徒会、家庭クラブ、ボランティア会、MSリーダーズ、科学部等の生徒の活躍によるESDの推進。 		
11 成果・課題	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本校は今年度より3年間、県教育委員会から指定を受け「岐阜県立池田高等学校活性化協議会」を設立した。協議会を2回開催し、魅力ある活力あふれた高校づくりについて協議し、さまざまな取組を行った。 ○ユネスコスクール3年目となり、今年度からESDの教育計画（ESDカレンダー）を作成し、ESDの視点で教育活動を進め、ボランティア活動の充実、池田町が主催するニュージーランド海外研修、地域の保存会と共同でハリヨの保護活動を行なう等、地域と連携しながら、ユネスコスクールとして、具体的な教育活動を展開することができた。 ○ホームページや学校案内を一新し、生徒や保護者への一斉メール配信の活用を積極的に進めたので、本校の教育活動への理解が深まったという評価をいただくことができた。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▲池田高等学校活性化協議会を柱に、地元の中学校や池田町や神戸町と連携し、地域の持続可能な発展の核となる魅力ある学校づくりを進めたい。 	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
12	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <p>今年度は、中学3年生を対象にした学校PRパンフレットを作成し各中学校を訪問したり、先進的に魅力ある学校づくりを進めている宮城県と岡山県の高校4校に職員が視察したり、地元の池田中学校3年生全員を招いて1日体験入学を行ったり、岐阜経済大学と大垣女子短期大学と高大連携教育協定を締結したりして、魅力ある高等学校づくりのための具体的な活動を積極的に行った。</p> <p>また、働き方改革にも努め教育活動の見直しと改善を積極的に進めるとともに、生徒の卒業後の進路実現や部活動での活躍、生活指導の充実に努めることができた。</p> <p>来年度は、池田高等学校活性化協議会を中心として、魅力ある高等学校づくりのための具体的な活動をさらに進めたい。そのために、地元の大学との高大連携や地元の専門学校との授業連携、地元中学校との特別活動を通じた連携などの学校間の繋がりを深めていきたい。また、地元行事に積極的参加したり池田町と協働してキャリア教育を進めるなど地元自治体と連携を深め、卒業後は地域の様々なところでリーダーとして地域を支える社会人として期待される人材を育成する学校として、地域からも具体的な要請がある学校運営を進めたい。さらに、ICT教育を進め、教科指導および総合的な学習の時間「探究・ESD」を充実させ、意見交換しながら自ら課題を見つけ解決していくアクティブ・ラーニングの手法を取り入れた授業改善を進めたい。</p>	

II 学校関係者評価

実施年月日：平成30年2月8日

【意見・要望・評価等】

- 目を広く世界に広げ、地球規模での問題とその解決を見据えながら、地元・地域の現状に目を配り、その中で生徒の今後の生き方やそれを支える力の養成に努めているスケールの大きさと細部への心配りが両立している。
- ユネスコスクールとしての活動を積極的に行いその結果素晴らしい成果をあげています。
- 池田高校の素晴らしい点でもある「地域密着型」が、あらゆる場面で目に見える形で実施され、多くの地域住民に認知されるようになってきたと思う。池田高校のひとりひとりが「池田高校」の看板を背負っているという自覚を持ち、活動することによって、池田高校全体のイメージアップに繋がっていると思う。実際の私も池田高校の生徒さんと関わる機会が増え、池田町住民として、大変嬉しく思うとともに、皆さんのことを心から応援したいと思う。地域住民の皆さんもそう思っていると思う。
- ユネスコスクールの認定を受けられてから、学校全体に活気があり、ESDの推進に向けて先生と生徒が同じ方向に向かってるように思います。また、福祉の町池田町と連携することにより方向性が明確になり、卒業後の進路にもとても良い影響を与えていると思いました。さらに今年度は、活性化協議会に参加させていただき、素晴らしい子どもたちの生き生きした発表態度や内容に感動しました。先生方のご指導の賜物と思います。